

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成26年度 **上半期(4月～9月)** の管理運営状況)
年間(4月～3月)

施設名	開戸センター	指定管理者	医療法人財団 暁
指定期間	平成25年4月1日から 平成30年3月31日まで	担当課	高齢者支援課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

分類		年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)
開館日数 (日)		244	125	51.2%
延べ利用者数 (人)		4000	1473	36.8%
自主事業	実施回数 (回)	10	49	490.0%
	利用者数 (人)	112	420	375.0%
収入	指定管理料 (円)	13,160,000	6,580,000	50.0%
	利用料金収入 (円)	3,400,000	1,268,200	37.3%
	自主事業収入 (円)	696,000	290,800	41.8%
収入計 (円)		17,256,000	8,139,000	47.2%
支出	人件費 (円)	10,274,000	5,231,812	50.9%
	維持管理経費 (円)	6,286,000	2,012,778	32.0%
	自主事業関係経費 (円)	2,661,093	1,017,500	38.2%
	その他の支出 (円)	0	0	0.0%
支出計 (円)		19,221,093	8,262,090	43.0%
収支 (収入－支出) (円)		▲ 1,965,093	▲ 123,090	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)		
【開館日数・利用者数について】 開館日数は計画どおり開館しているが、利用者数については計画より少ない状況である。引き続き、啓発・広報活動を行う必要がある。	【事業の実施状況について】 通所事業は計画通りにて順調と言える。自主事業は上半期企画を実施し、今後の展開に希望が持てる	【収支状況について】 通所事業の収支は良好である。自主事業についても良好であり、今後さらに収入が見込める。
所管課の評価 (指摘事項)		
【開館日数・利用者数について】 計画通り開館されているが、利用者数については、計画よりも下回っていることから今後も啓発・広報活動を行う必要がある。	【事業の実施状況について】 利用者に適した事業が実施されており良好である。	【収支状況について】 通所事業の収支は良好である。自主事業についても活動が活発になってきた。継続して収支バランスの安定化に努める必要がある。

2 チェック項目

評価項目・評価事項 (数値目標)		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負っていない	実地	適正・要改善	適正・要改善

安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善	
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善	
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善	
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善	
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善	
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善	
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善	
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善	
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善	
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善	
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	5人	人員配置計画、実地、出勤簿	8人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	12回/年	研修マニュアル	実施回数6回 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている		実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている		個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている		保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている		事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

<p>指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）</p> <p>高齢者在宅サービスセンター開戸センターの運営は順調に問題なく実施できているが、介護保険への移行のため利用者数の減少がみられる。今後もPR活動やパンフレットを活用し利用者の増加を図るとともに、異世代交流等も取り入れながら地域に密着したセンターを目指しています。</p> <p>げんき応援事業の運営も企画の工夫や料金設定の見直し、PRなどにより一般の方の利用も順調に増えてきている。これからも利用者のニーズにあったサービスに努め、センターの活性化、地域に密着したセンターになるように努力していきたい。</p>
<p>市による所見（指摘事項など）</p> <p>通所事業については、おおむね良好である。利用者の適切なサービス利用の見極めを実施することにより利用者の減少がみられたが、新たな利用者を増やすための取組に期待している。自主事業については、事業内容を改善するなど工夫が見られ評価できる。</p> <p>今後も引き続き利用者に対し、介護保険制度等を含めた適切なサービス利用の見極めを行うとともに利用者の増加を図るための取り組みを進め、また自主事業における収支バランスに留意した継続的な運営をお願いする。</p>